



柳ヶ瀬エリア プラットフォーム Vision Meeting Report #1

#17.15.Wed./ #28.19.Wed. / #39.16.Wed. / #4 10.7.Wed. / #5 11.4.Wed. / #6 12.2.Wed.

ビジョンミーティングとは

エリアに関わる全ての人、事業者が参加できる広く開かれた場とし、事業会議での意見や取り組みを共有し、その他の専門的な事項も含めビジョンの方針、盛り込む内容を議論します。議論を深めつつ進めるため、各回の議題や論点は戦略検討委員会で整理し、提案します。ここでの議論の内容を取りまとめ、推進会議を経て、柳ヶ瀬エリアのビジョンを策定します。

当日のプログラム

第1回ビジョンミーティング 開催概要

日 時：2026年7月15日（水）19：00～21：00
会 場：ウゴクテ
参加者：29名
テーマ：第1部 これまでの歩みを振り返る
第2部 柳ヶ瀬のこれからを考える



第1部：これまでの歩みを振り返る

19：00 ビジョンMTGの進め方のご説明
19：20 成果イメージの共有（参考・気仙沼市）
19：30 既存ビジョンのご紹介（柳商連2017年版）
19：40 既存ビジョンのご紹介（柳商連2022年版）
19：50 ビジョン検討の土台の共有

第2部：柳ヶ瀬のこれからを考える

20：00 グループごとに意見交換
「残したいもの / 変えていきたいもの」
20：35 意見交換の内容を全体で共有
20：45 アドバイザーの方からのコメント
20：50 次回のご案内

エリアビジョン策定の進め方（予定）

柳ヶ瀬エリアのビジョンは以下の流れで広く多様な方々との議論を積み重ね、9月末には骨子を、12月には本編を取りまとめる予定で取り組んでいきます。

第1回
7/15水

> エリアビジョンの意義の共有
・検討の前提についての認識共有
・これまでのビジョンの経緯と概要

第2回
8/19水

> ビジョンの構成案の検討
・エリアとして大切にしたいこと
・柳ヶ瀬が目指す姿のイメージ共有

第3回
9/16水

> ビジョンの骨子案の検討
・目指す姿を構成する要素の共有
・各要素のあるべき姿と現状の共有

ビジョン骨子 完成

第4回
10/ 7水

> 個別テーマの具体的な検討
・各要素の基本方針の検討
・各要素の取り組み内容の検討

第5回
11/4水

> ビジョンの本編案の検討
・各要素の取り組み内容の検討
・取り組みの仕組みと体制の検討

第6回
12/2水

> ビジョンの本編案の検討
・取り組みの仕組みと体制の検討
・取り組みのステップの検討

ビジョン本編 完成

次回予告

#2

柳ヶ瀬エリア
プラットフォーム
ビジョン
ミーティング
日 時：2026年8月19日（水）19：00～21：00
会 場：決定次第、ご連絡します
テーマ：柳ヶ瀬エリアの目指す将来像

こ

これまでの取り組み（2つのビジョンと市の計画）

【岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会による既存のビジョン】

岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会では、これまでに2つのビジョンを作成されています。1つ目は、2017年5月に策定された、柳ヶ瀬グランドビジョン「新しい商いが生まれるまちを目指して」であり、2つ目は、2022年3月に策定された、柳ヶ瀬グランドビジョン2022「柳ヶ瀬は公園のような商店街を目指す」です。当日はこの2つのビジョンの背景と内容、その成果と現在につながっている事柄をご紹介します。また、今回のビジョンは官民連携で作るものであることから、岐阜市の中心市街地に関する各種計画とも整合をはかりながらまとめていきます。

2017年柳ヶ瀬グランドビジョン

「新しい商いが生まれるまちを目指して」
「柳ヶ瀬のまちのファンをつくる」を基本戦略とし、守る・攻める・育むの三つの視点から、展開する事業について整理したビジョン。

新しい商いが
生まれるまちを目指して



2022年柳ヶ瀬グランドビジョン

「柳ヶ瀬は公園のような商店街を目指す」
2017年からのビジョンの検証やまちの環境変化を分析し、5つのアクションプランを整理したビジョン。



岐阜市中心市街地活性化基本計画

中心市街地において柳ヶ瀬をはじめとする各エリアの魅力を高め、持続的に人が訪れ活動が生まれるまちを目指す方向性を示す。

岐阜市中心市街地活性化基本計画



ビ

ビジョンの土台となる考え方の共有

既存の2つのビジョンと市の関連計画、令和7年度に実施した柳ヶ瀬エリアの利害関係者へのヒアリングを踏まえ、今回のビジョンの「土台となる考え方」「時代に合わせた肉付け」「先を見据えた戦略」をそれぞれ以下の通り整理しました。これらの整理に基づいて、次回以降はビジョンの中身を検討していきます。

これまでのビジョンから踏襲すべき視点・内容

「土台となる考え方」

- ・「公園のような商店街」という空間ビジョン
- ・個性的な店主・人間味・ローカル性を価値とする考え方
- ・創業・出店サポートの仕組み化・常設化
- ・3世代（子育て・シニア・若者）への具体的アクション

これまでのビジョンから更新すべき視点・内容

「時代に合わせた肉付け」

- ・住人（まちなか居住者）との日常的な関係性の構築
- ・アーケード老朽化への対応と「公共空間の再定義」
- ・デジタル・トランスフォーメーション(DX)と移動(アクセス)の融合
- ・「商業・住居混在型」への転換に必要な都市機能の誘導

これまでのビジョンに加えるべき視点・内容 「先を見据えた戦略」

- ・エリアマネジメント組織と持続可能な財源の仕組み
- ・社会実験から事業化・見直しへつなげる仕組み（プロトタイプとしてのビジョン）

エリアテーマ

【空間活用の仕組み、空間デザイン】
【ウォーカブル促進とランドスケープ構想】
【資金調達と投資の仕組みの構築】

個別テーマ

【新たな住み方・働き方】
【子どもの居場所と教育】
【ナイトタイムエコノミー】
【柳ヶ瀬広場周辺リノベーション】
【多様な表現活動の環境づくり】
【道路空間の利活用】
【情報発信とメディア戦略】
【大規模遊休不動産への対応】

大

大切にしていきたい柳ヶ瀬のもの・こと・ひと

第2部では、参加者の皆さんと柳ヶ瀬エリアの「残していきたい・大切にしたいもの・こと・ひと」と「変えていきたい・生み出したいもの・こと・ひと」について考え、以下のようなご意見が多く出されました。いただいたご意見をもとに、次回以降のビジョンミーティングで考える内容を組み立てていきます。

<残していきたい・大切にしたいもの・こと・ひと>

- ・良い意味での「ごちゃまぜ感」と寛容な空気感
- ・人の温かさや心地よい距離感の人間関係
- ・車を気にせず安全安心に歩ける環境

<変えていきたい・生み出したいもの・こと・ひと>

- ・誰もが自由にチャレンジできるような空気感にしたい
- ・多様な人が思い思いに楽しめるようなエリアにしたい
- ・新しい住人や子どもにとっても暮らしやすいエリアに

